

# Program

❖ ヴィヴァルディ:

チェロ・ソナタ ホ短調 RV.40 (op.14-5)

Antonio Vivaldi (1678-1741):

Cello Sonata in E minor, RV. 40 (op. 14, No. 5)

❖ サン=サーンス:

チェロ・ソナタ第1番 八短調 op.32

Camille Saint-Saëns (1835-1921):

Cello Sonata No. 1 in C minor, op. 32

❖ プロコフィエフ:

チェロ・ソナタ 八長調 op.119

Sergey Prokofiev (1891-1953):

Cello Sonata in C major, op. 119

ピアノ: ジュリアン・ジェルネ

Piano: Julien Gernay

豊穣の響き、至福のチェロ。

宮田 大 チェロ・リサイタル 2016

DAI MIYATA

*Cello Recital 2016*

2016. 6/10 (金) 7:00PM開演 (6:30PM開場)  
京都コンサートホール 小ホール [アンサンブルホール ムラタ]

Friday Evening, June 10, 2016, at 7:00, Ensemble Hall Murata (Kyoto Concert Hall)

●〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26/地下鉄丸線「北山」駅下車、③・①出口から南へ徒歩約5分

¥4,700 (全席指定/税込) ●2016.1/23(土) 10:00AM発売

○京都コンサートホール 075-711-3231

○チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:285-215]

○ローソンチケット 0570-00-0407/0570-08-4005 [Lコード:56244]

○CNプレイガイド 0570-08-9990

○セブンチケット <http://7ticket.jp/> ※セブン-イレブン店頭購入可

○イープラス <http://eplus.jp/otonowa/>

○高島屋京都店7Fチケットショップ ※店頭販売のみ

○otonowa 075-252-8255 ※電話予約のみ/郵便振替口座:00960-8-322727 加入者名:オトノワ

後援:公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団

※未就学児童の同伴・入場はお断りします。

※都合により、曲目・曲順・出演者等、内容の一部が変更される場合があります。予めご了承ください。

主催/お問合せ:otonowa 075-252-8255

[10:00AM-6:30PM/日曜・祝日休み 土曜不定休]

otonowa

[www.otonowa.co.jp](http://www.otonowa.co.jp)

# 宮田 大 チェロ・リサイタル 2016

# DAI MIYATA

*Cello Recital 2016*



20世紀を代表するチェリスト、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチの名を冠した、世界で最も権威のあるチェロの国際コンクール「第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール」で日本人初となる優勝を果たし、一躍その名を世界に轟かせた宮田大。以来、さらなる研鑽と国内外での精力的な演奏活動でキャリアを重ね、名実ともに世代を代表するチェリストとして期待と注目を集め続けています。

2年ぶりとなる京都公演、今回のプログラムは宮田大が盟友ジュリアン・ジェルネと共にチョイスしたチェロ・ソナタ3作。それぞれ趣が異なるソナタの名品を、銘器ストラディヴァリウス“シャモニー”で美しく豊かに歌い、奏でます。成長著しい宮田大の「今」をご体感ください。

## 宮田大(チェロ) Dai Miyata, Cello

栃木県宇都宮市出身。音楽教師の両親のもと3歳よりチェロを始める。幼少よりその才能は注目をあつめ、9歳より出場するコンクール、第74回日本音楽コンクールを含むすべてに第1位入賞を果たす。

2009年、第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝。第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第20回出光音楽賞、第13回ホテルオークラ音楽賞など華やかな受賞歴を持つ。第35回江副育英会奨学生。ローム・ミュージックファンデーション奨学生。

桐朋学園音楽部門特待生、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。2009年にジュネーブ音楽院卒業、2013年6月にクロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ=ナジの各氏に師事する。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、パリ管弦楽団、フランクフルトシンフォニエッタ、S.K.ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などと共演、小澤征爾、E.インバル、L.スワロフスキーなどの指揮者やL.ハレル、G.クレーメル、Y.バシュメット、M.ヴェンゲーロフ、A.デュメイ、日本を代表する多くの演奏家・指揮者と共演し、国内外の音楽祭やソロ活動を活発に行う傍ら、国際チェロコンクールの審査員としても招聘されている。

マスメディアへの出演も多く、「小澤征爾さんと音楽で話した日〜チェリスト・宮田大・25歳〜」(芸術祭参加作品)、「カルテットという名の青春」[NHKワールド「Rising Artists Dai Miyata」]などのドキュメントのほか、「クラシック倶楽部」[らららクラシック]「題名のない音楽会」などにも複数回出演している。「報道ステーション」でのライブ演奏が話題を集めた。水戸室内合奏団メンバー。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製ストラディヴァリウス“シャモニー(Cholmondeley)”である。

©宮田大オフィシャル・ウェブ・サイト <http://daimiyata.com>

## Profile

### ジュリアン・ジェルネ(ピアノ) Julien Gernay, Piano

1981年、ベルギーのナミュール生まれ。幼少よりピアノとヴァイオリンを始める。ピアノとヴァイオリンと室内楽で一等賞を獲得し、ニース音楽院を卒業。同時に和声と伴奏を学んだ。1999年、パリ国立高等音楽院に入学し、ミシェル・ペロフ、デニス・パスカル、クリスチャン・イヴァルディ、ダリア・ホヴォラのもとでピアノを学ぶ。メナヘム・プレスラー、ドミトリー・バシキロフ、ジャン=クロード・ペネティエ、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏にも師事し、ピアノと室内楽で一等賞を獲得。

2007年エリザベート王妃国際音楽コンクール・セミファイナリスト。リスボンの国際ピアノ・コンクールでヴァンドーム賞を受賞。フランス・ナティクシス財団の受賞者でもある。また、フランス財団よりドルエ・ブルジョワ賞とタラツィ賞を授与された。

フランス国内の数々のコンクールでファイナリストに選ばれた後、ソリストとしてヨーロッパおよび世界各国の主要なホールで出演を果たす。マントン音楽祭、フェスティバル・ア・ランペリ、ペリゴール・ノワール音楽祭、アントルカストー室内楽、サントーニュ・ピアノ音楽祭をはじめ、さまざまな音楽祭から招かれている。ワローニア王立室内管弦楽団と指揮者ポール・グッドウィンと共演した際には、ピアノ部門において特別賞受賞者を受賞した。

現在、演奏家として幅広く活躍するほか、パリ国立高等音楽院とオールネイ=ス=ボワ県立音楽院で後進の指導にもあたっている。

